

生きてそのまま腸まで届く 驚異の『腸内フローラ』!!

「**ハタ乳酸菌 + 酵素**」
300億個の生きてた力にあり



60g(2g x 30包)
税別価格 14,800円

世界24ヵ国で特許取得！世界が認めた乳酸菌！

一般的に多くの生菌は胃酸や消化液によって約80%が死んでしまい、仮に耐えた菌が腸に届いたとしてもすぐに便と共に排出されてしまいます。
LCHハタ乳酸菌は、胃酸に強く、腸内の厳しい環境下でも3~7日間はとどまり、繁殖できる、しっかり働いてくれる強い乳酸菌です。

便秘

アレルギー性疾患

肥満

うつ病

動脈硬化

自己免疫疾患



テレビ、新聞、雑誌で話題沸騰!

同じものを、同じだけ食べて私だけ太るのはなんで!?

腸内フローラ 健康法

太りやすい人ほど **やせる!**

100兆個の腸内細菌がやせ体質をつくる!

今すぐできる、**腸内フローラ 簡単ダイエット!**

武藤 裕子 腸内フローラ レシピ
みんなの家庭の医学

腸内細菌が 寿命を決める

内視鏡検査で早期発見を

大腸がんで命を落とす人が増えている。鍵をにぎる腸内細菌の研究者と臨床医、患者が明かす生存への道

死因の上位となった大腸がん

武藤徹一郎 × 辨野義己 × 鳥越俊太郎

(がん研有明病院名誉院長) (理化学研究所特別招聘研究員) (ジャーナリスト)

鳥越氏 辨野氏 武藤氏

腸内環境が すべてを左右する!!!

世界特許24カ国以上

LCHハタ乳酸菌は、日本国内はもとより米国、ロシア、ドイツ、フランスなど世界24カ国で特許を取得しています。

【特許取得国一覧】

アメリカ、カナダ、メキシコ、イギリス、イタリア、スペイン、ドイツ、フランス、オランダ、スイス、ウクライナ、クロアチア、ロシア、オーストラリア、イラン、インドネシア、韓国、中国、香港、トルコ、フィリピン、ベトナム、南アフリカ、日本

ロングステイ製法で腸内停滞記録1週間

一般的に生きた乳酸菌は飲料やヨーグルトに入っています。LCHハタ乳酸菌は、粉状であるにもかかわらず菌は生きています。これは乳酸菌を生きたまま凍結乾燥させることで眠らせた状態にし、そのまま口から入り、水分に触れたり栄養源に触れると菌が目覚めて本来の力を取り戻し、活動をはじめます。さらに独自の特殊加工技術でコーティング剤を纏わせて凍結乾燥させることにより、腸内で生きたままの状態でも長く保ちます。LCHハタ乳酸菌は、一般的な乳酸菌の3~7倍ほどの定着率があり、3~7日間も腸に停滞して働き続けます。

善玉菌優勢の腸内環境を維持

人間の腸の中には約100兆個もの細菌が住み着いており、体にとっても良い菌（善玉菌）、悪影響を及ぼす菌（悪玉菌）とに分かれており、日々それぞれが勢力争いをくり広げています。そのため善玉菌が優勢になるキレイな腸内環境を保つことが毎日の健康を維持するうえで大切になってきています。

生きたまま腸まで届く

「乳酸菌」と聞くと、飲めばカラダによいと思われていますが、すべての乳酸菌が腸に到達できるわけではありません。多くの場合、胃酸や胆汁（消化液）にひよって約80%が死滅し、1~2日ほどで便とともに排出されてしまいます。強化型乳酸菌であるLCHハタ乳酸菌は、特異なカゼイ種そのもので胃酸や胆汁に負けず、生きたまま腸内まで到達する非常に強い乳酸菌なのです。

100種類以上の野菜や果物を熟成発酵!

発酵食品や生野菜、果物、鮮魚などに豊富に含まれる酵素。体内に酵素が不足すると、健康に欠かせないビタミンやミネラルなど栄養をゆきわたらせる事ができません。欧米型の食生活が酵素摂取量を不足させ、ストレス社会が体内での酵素生成をされにくくしています。生活習慣病の予防に、肥満やお通じの悩みに、疲れや老化を気にする方、ダイエットしたい方などにお勧めです。

NHKスペシャルにて腸内フローラについて放映されています。

お肌の調子が良くない、ダイエットの成果がなかなかでない...そんな時、あなたのお腹にいる“腸内フローラ”が影響しているかもしれません。“腸内フローラ”とは、腸の中に住む細菌たちの生態系のことを言います。いま、最新の遺伝子解析技術によって、腸内細菌がもつ知られざるパワーが明らかになってきました。

腸内細菌と言えば、「善玉菌」「悪玉菌」という言葉が思い浮かぶかもしれませんが、腸の中には実に100兆匹以上、数百種類もの細菌が住んでいて、その細菌の出す物質が、私達の美容や健康に様々な影響を及ぼしていることが分かってきました。がんや糖尿病などの病気から、肥満やお肌のシワなどの体質まで。さらには、その影響は脳にまで及び、うつ病とも関係しているのではないかと考えられています。

腸内細菌の全貌を解明すれば、医療に大きな変革をもたらすのではないかと期待が高まり、欧米では国家的な研究プロジェクトが動き出しました。

“腸内フローラ”を治療に活かす臨床研究も次々と始まっています。今や“腸内フローラ”は、人類の寿命を劇的に延ばした「ワクチンの開発」や「抗生物質の発見」に匹敵するインパクトがあるとも考えられています。